

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型児童通所支援 ミックスベリー-ONODA	公表日	R8年 2月 25日
------	--------------------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	設置基準は満たしているものの指導訓練室などが手狭なためその日の利用状況や活動に合わせて用具の移動、パーテーションの活用をし可能な限り広いスペースを確保できるようにしております。	現在使用している部屋の整理整頓を行い、少しでも広いスペースを確保出来るようにします。室内の物品配置の見直し等を、利用児が使いやすい工夫を行います。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	職員の配置人数に加え加算要件を満たす職員配置をしております。	その日の利用人数に合わせて、今後も余裕のある職員配置を整え、安全に過ごせるように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	子どもが利用する場所はバリアフリーの構造になっております。トイレには動作補助の为抓手を設置しています。	構造化により、活動場所や物の場所等をお子さまに分かりやすいよう視覚化しております。その他、活動する中で危険箇所や不具合が生じた場合には、皆が安全に過ごせるような環境作りを行い、対策を講じております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日の清掃・消毒を行っています。	指導訓練室で運動の活動をする際は運動に適したスペースを用意したり、公園や体育館に行って身体を動かす機会を設け、活動に合わせた空間で活動が行えるよう工夫してまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	宿題や個別療育などで集中したい時、クールダウンしたい時など、できる限り別室で対応できるようにしております。	現在使用している部屋の整理整頓を継続し、利用者が個別に使える部屋を確保いたします。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	ミーティングの際に、支援する上で協議が必要な事柄について話し合いを行い、職員全体で方向性を決めております。	朝礼・終礼や支援ミーティング等の時間を増やし、業務改善を進めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケート調査を行い、保護者様から寄せられたご意見やご要望などを事業所内で共有し業務改善に努めております。	アンケート結果を含めた保護者様からのご意見やご要望の把握に努め業務改善につなげてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼やミーティングなどで意見交換を行っております。	今後も定期的にミーティングを行い、職員全体で意見のすり合わせを行うことで業務改善を図ってまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者による外部評価の取り組みはありません。今後、必要に応じて検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部講師の方に来ていただいたり、職員が研修を実施したりなど形態は様々ですが、事業所内研修を行っています。また、職員各々が、積極的にOff-ITに参加し、自己研鑽に努めております。	引き続き、様々な研修の機会を設け専門性の向上を図り、業務や療育などを含めたお子さまの支援に活かしてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	事業所ホームページ、SNS等で公表しております。	今年度も公表予定です。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	契約時にアセスメントを行い、お子様の状況やニーズの把握に努め、把握した内容を基に個別支援計画を作成しております。また、モニタリングも上記の対応を行い、個別支援計画に反映しております。	個別支援計画の更新時期以外にもお子さまの状態に変化が見られた場合や保護者様からご要望等があった際は、適宜、見直しを行い、お子さまの発達に合わせた個別支援計画作成に努めてまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	事業所内で行う担当者会議には児童発達支援管理責任者、各々の利用者の担当職員などが参加し支援の方向性を決めております。	今後もこどもの支援に関わる職員が複数加わり、こどもの最善の利益を考慮した検討が行えるようにしてまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	作成した計画書は全職員に共有されております。また、計画書に沿って個別療育の課題を設定、個々の到達目標に沿って支援をおこなっております。	今後も計画書を作成した際や変更があった際は、その都度職員に共有し、計画に沿った支援ができるように努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルアセスメントを実施している利用者については任意で結果を共有していただいております。インフォーマルアセスメントについては適宜行っております。	今後も必要に応じてフォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを活用しお子さまの状況を確認し支援に活かしてまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	必要な項目を組み込み、支援内容を設定しております。	今後も左記の項目を適切に設定し支援内容を検討してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員間で意見を出し合い、活動プログラムを立案しています。	今後もお子さまがより安全に楽しく活動に取り組みするような活動プログラムを考えてまいります。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	療育活動は定期的に評価を行い、一人ひとりにあった目標や課題を設定しております。継続して取り組む必要がある課題は繰り返し行っておりますが、成長に合わせてステップアップできるよう多数の課題を準備しております。	今後もお子さまの発達段階や課題に応じてプログラムの内容を発展させ成長に合わせた課題の提供を目指してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	お子さまの課題を踏まえた上で個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成しております。	今後もお子さまの状況把握に努め、成長をサポートできるような個別支援計画の作成に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	指示表作成、朝礼により打ち合わせや役割分担などの確認を行っております。また、支援内容については記録及び申し送り確認し、その日の支援内容や配慮する点などの確認をしております。	左記の内容については確認ができていますが、お子さま一人ひとりの療育内容や課題の取り組み方など、より細かな情報共有が図れるようにしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	送迎等の関係で支援終了後の終礼等の時間は確保できない時もありますが、職員で振り返りを行ったり、業務日報の活用、次の日の朝礼時に情報を共有するなどの対応をしております。	今後も職員全体に必要な情報が共有できるように、日報の活用や朝礼、終礼等での情報共有を徹底してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	運営ソフトを導入し、利用時には必ず支援記録を入力しております。	今後も支援の検証や改善に繋がるような記録を意識してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	児童発達支援管理責任者及び担当職員を中心にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断しております。	定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。定期的なモニタリング以外にもお子さまの状況により見直しの必要がある場合は、適宜、見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者、可能であれば担当職員も参画しております。	今後も担当職員も参画できるような体制を整えてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	体制は整えております。また、利用者が通園する幼稚園とは連携をとっております。	体制はありますが実績は少ない為、今後必要に応じて取り組んでまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	送迎時に加え、必要に応じて情報共有ができるよう努めております。	今後も送迎時や必要時に情報共有を行えるよう努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	移行の際に必要な情報共有は行っております。	今後も必要に応じて情報交換の場を設けることを検討してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		今後必要に応じて検討いたします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	レクリエーションで公園に遊びに行った際に地域の子どもの中に混ざり遊んだり、公共施設・公共機関で地域の方と関わる機会を設けております。	今後、ご要望に応じて保育所や幼稚園等との連携を図ることや地域での活動する機会を増やしていただけるよう検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時にお話することで情報共有に努めております。また、定期的なカンファレンスを実施し共通理解が図れるようにしております。	今後も継続してまいります。また、必要に応じて個別に相談の時間を設けてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		お子さまの行動に関する悩みや不安に対して助言が出来るように努めておりますが、ペアレント・トレーニングの実施はできておりません。今後必要に応じて検討してまいります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	見学や契約時に説明を実施しております。また、運営規程の内容及び利用者の負担額が変更になった際には、その都度口頭説明及び書面配布にてお伝えしております。	今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	カンファレンスを行い保護者や利用者の意向を確認したうえで作成しております。	今後も定期的に保護者様と話をする場を設け意向を取り入れられるように努めてまいります。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が半年ごとに個別支援計画の更新、説明を行っております。	今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時やモニタリング時の他にも、事業所内にて相談援助の時間を設け、保護者からの悩み等に対する相談に応じ助言を行っております。	今後もご相談があった場合には、迅速な対応が出来るように努めてまいります。また、子育てに関する相談に適切に応じることが出来るよう職員一同自己研鑽に努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		現在は父母の会などの保護者会は設けておりません。今後ご要望に応じて保護者様同士の連携の場を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情などの申し出があった際には内容確認後、速やかに改善策を検討したうえで申し入れ者に改善策を伝え苦情解決に努めております。	今後も引き続き、子どもや保護者様からの相談に対して迅速かつ適切に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	運営ソフトを使って連絡体制を整えている他、年に4回の活動の内容報告(お便り)の配布、SNSを活用した活動のお知らせをしております。	今後も行事予定や活動の報告などを発信してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報に記載された書類については、鍵付き書庫で保管しております。また、PCには覗き込み防止フィルターを貼り、PCのパスワードは第三者が分からないようにしております。	今後も引き続き、個人情報の取り扱いには注意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	言葉のみではなくカードや写真を用いて視覚的に支援をしたり、ジェスチャーや見本を見せるなど、お子様に合わせて「伝わる」工夫をしております。保護者様への情報伝達ツールも状況に合わせて配慮しております。	今後もご利用されるお子さまや保護者様に合わせて、より良い方法を検討してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		地域の皆様を招いて行う行事は実施できていません。今後、行事を充実させ、地域に根付いた事業所となるように取り組んでまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種対応マニュアルを策定し、職員へ周知しております。定期的な救命の訓練や感染症についての研修を行っております。	各種マニュアルについて保護者様への周知が不十分な点もありますので、周知方法を検討してまいります。また、発生を想定した訓練、知識や技術の習得及び再確認などを定期的実施してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、今年度は事業所内の職員で机上訓練を行っております。避難訓練については年間計画に沿って、定期的に行っております。消防署の方に来ていただき訓練の様子を見て助言をいただく機会も取り入れております。	利用日による偏りがないように避難訓練を行っていますが、急な欠席もあるため、全てのお子さまが参加できるよう調整したり、保護者様にもご参加いただけるような訓練も検討してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等の状況を確認しております。実際に服薬をする際は、当日保護者様に服薬確認表を提出していただき、服薬状況もお伝えしています。また、送迎時にも緊急時の対応としてマニュアルを配置しております。	今後も服薬に関しては事前の確認を徹底し、医師が処方したものでなければ服薬できないことなど、取り扱いに細心の注意を払って対応してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	おやつ提供時はチェック表を基に職員2人で確認を行っております。	契約時に食物アレルギーの調査表を記入していただき、該当されるお子さまについては、医師の指示書を提出していただくようにしております。ご利用児には医師の指示書に基づいた対応を徹底してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し、虐待防止研修や防災訓練などを行っております。	今後も安全計画に基づいた研修や訓練、その他の必要な措置を行い、安全管理に努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全計画は策定していますが保護者への周知徹底出来ない状況です。	安全計画の間隔ができるように整備し、契約及びカンファレンス時に閲覧可能なことを周知できるよう努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	危険な事例があった際には、ヒヤリハット報告をあげて、職員間で内容を共有した上で対応策を協議し、再発防止に努めております。	今後も継続するとともに振り返りを行う機会を設け、さらなる改善策や予測される危険などについて検討し、職員の危機管理能力の向上に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待防止の研修を行っております。	今後も定期的に研修の機会を設け、職員全体で虐待防止の意識を高めてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束に関する指針や規定を作成しています。身体拘束を行う必要があるお子様については事前に保護者様に十分な説明を行い、個別支援計画にも記載しております。身体拘束があった時には記録しております。	身体拘束を廃止していくために、お子さまの状況に応じて支援方法を検討するなどの対応を講じていきます。	